



Earth in Architecture

「屋内の大地」プロジェクト

空き店舗を活用してつくる「屋内の大地」

福島県二本松市の空き店舗化の拡大は、震災以前から問題とされています。しかし、行政による支援などによって幾つかのコミュニティスペースが提案・運営されているなか、継続的な活動として地元に着するものは少ないといえます。震災以後には地震による被害と放射能汚染の問題から、空き店舗化には拍車がかかることが危惧されています。そのような震災以後の二本松市の現状を把握した上で、子どもたちが安全に安心して過ごすことができる屋内の公園を提案します。空き店舗の内部に大地をつくり、子どもたちは土遊びを楽しみ、大人たちはそれを見守りながら草原の上でコーヒーを飲んで、くつろぎながら、大人どうしでの会話を楽しみ、情報交換の場としてもその場に留まれる、地域全体のコミュニティスペースとして機能する公園をつくります。公園とは子どもから大人まで、多くの人々が集まる空間です。それにより、相対的に所有する情報量があがり、地域住民が必要とする情報を収集することもできる憩い場となることを願います。

「屋内の公園」実行委員会 会長 アサノコウタ





「大地の素」を大募集しています。

西日本,日本海側の,放射能に汚染されていない落ち葉,枝や葉,植物,土壌などをお送りください.放射線量を測定し,安全と判断したうえで,「屋内の大地」をつくり,こどもたちとあそびます.

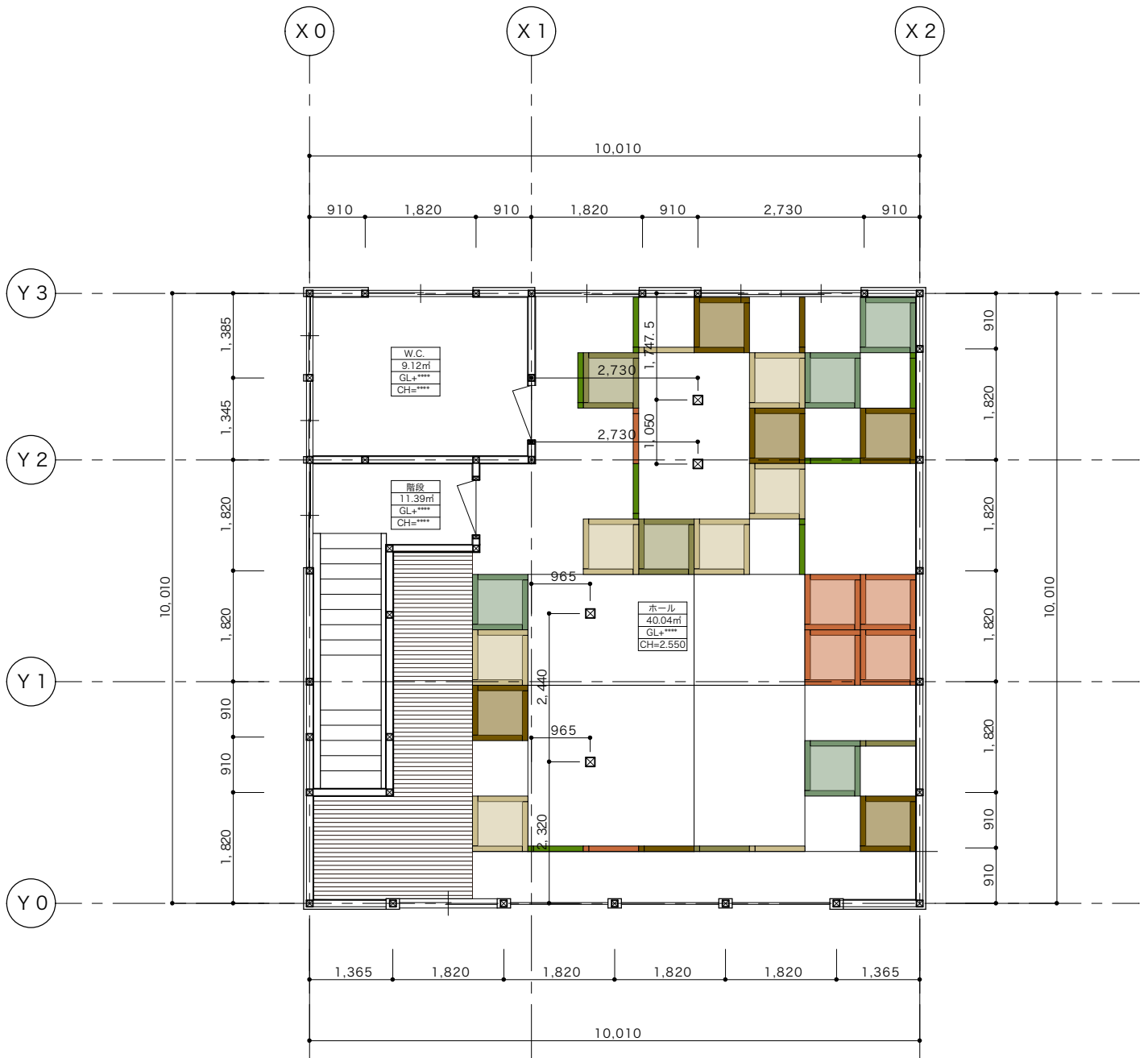
落ち葉や葉の種類などは問いません.土壌の場合,虫などが入らないようにお願いいたします.

送り先;〒964-0917福島県二本松市本町2-106「屋内の公園」「屋内の大地」プロジェクト

問合せ:070-5464-1586(アサノコウタ)

「屋内の大地」のつくりかた

落ち葉や、枝や葉、植物、土壌などを配するさいには、「大地の躯体」と称している木枠(910×910mm)をもちいております。赤松、桧、杉などの90×90角材に、キシラデコールを塗布して、大地にあわせるように、アースカラーに彩色をほどこしています。
(無色 / パリサンダ / オリーブ / タンネングリーン)



「屋内の大地」現状計画図

みなさまから届いた「大地の素」を、季節などに合わせて、配置をかえていきます。
大地とは、動くことなく、ずっとそこに在り続ける、揺るがないものでもありますが、起伏や色彩などは自由に揺らぎ、変容することができる、揺らぐものでもあります。

「屋内の大地」プロジェクト

* 基本情報

開放日時：月水金:15:00-19:00 土日:10:00-19:00(要確認)

* 不定期ですが,夜間にも「夜の公園」として開放するつもりです.

住所：〒964-0917福島県二本松市本町2-106 「屋内の公園」

運営：「屋内の公園」実行委員会(任意団体)

会長：アサノコウタ 副会長：松本太 会員数：10名(2012.1.11現在)

協力：Creative for Humanity

後援：福島県(福島県地域づくり総合支援事業[サポート事業]補助対象事業)

* 情報は随時更新しております.以下のURLより,ご確認ください.

twitter : <https://twitter.com/Earthtect>

facebook : <http://www.facebook.com/Earth.in.Architecture>

homepage : <http://www.bhis.jp/EiA.html>

* 寄付,協賛のご案内

「屋内の大地」プロジェクトの活動をご支援いただける個人,企業の皆様に寄付をお願いしています.

(一口10000円~.)ご支援いただけたかたの名前,メッセージ,企業名称を,「屋内の大地」に刻みます.

詳細は, casano@bhis.jp (アサノコウタ)まで,お問い合わせください.

折り返し,ご連絡させていただきます.